

平成22年度 栃木県公立小中学校事務研究大会 *PR版*

主催 栃木県公立小中学校事務職員研究協議会
期日 平成22年11月26日(金)
時間 受付 9:30~ 開会式 10:00~
会場 足利市民プラザ 文化ホール



大会テーマ 創造しよう! 子どもの豊かな育ちを支援する学校事務を
サブテーマ 参画・協働・アクション! 安全安心な学校づくりへのメッセージ

本大会のねらい

学校は、子どもたちが安全な環境で学習や諸活動に励み、夢や希望を育むことができる安心な場所であることが何よりも大切です。わたしたち教職員は、子どもたちのかけがえのない命を守る義務があり、常に「危機管理」について高い意識を持ちながら職務を遂行しなければなりません。しかし単に「危機管理」と言っても、不審者侵入、登下校時の危害や事故、校舎施設からの落下事故、遊具による事故、更には地震・台風などの自然災害、新型インフルエンザの蔓延など学校で起こりうる危機は様々であり、それらの対応は容易なことではありません。

そこで今年度の研究大会では、「参画・協働・アクション! 安全安心な学校づくりへのメッセージ」とサブテーマを設定しました。危機管理は学校のみで解決するものではなく保護者・地域全体で行うものです。まずはそれぞれの立場の知識や経験を集約し、組織の知識として共有していくことが大切です。危機管理への参画、教職員や保護者・地域住民との連携や協働、それらを踏まえて、事務職員のアクションが学校の教職員や地域・保護者へのメッセージとなって安全安心な学校づくりにつながっていくことを、そして、講師の方々からいただいた熱いメッセージを受けて、事務職員が「DO」から「ACTION」へと、いっそう積極的に実践・行動していく姿をイメージしました。この大会をとおして皆さんの実践・実行を後押しできれば・・・と考えております。

全体研究会 I (講演)

10:45~12:45



演題 学校における危機管理について
~「気づく心」「話し、聞く心」
そして「守る心」が鍵だ~

講師 パームコンサルティンググループ
代表 伊原 正俊 氏

講師紹介

企業・各種団体や行政・自治体・官公庁などを対象として、危機管理と広報全般をテーマに講演・研修に関わられるとともに、緊急事態発生時(危機の発生時)の緊急対応コンサルティング、マスコミ対応コンサルティング等に従事されています。



内容

学校の「危機管理」は誰がやるのか。管理職の仕事だよ、生徒指導や養護教諭がやればいいんだよ。危機管理をテーマとした研修の企画にあたり、こんな言葉を耳にして、まだまだ事務職員の危機意識の低さを感じました。

安全安心な学校は、全教職員、保護者・地域を巻き込んでつくるものだという認識が絶対的に足りません。また、学校の教員も同じ意識でいるのかとも思います。それぞれ役割の違った教職員が、それぞれの立場から危機を予測・想定し、日頃から仕事を進めることで、安全安心な学校へ、そして子どもの豊かな育ちへの支援につながってくるのでしょうか。

ここでは、学校において多い危機危険の事例を挙げていただき、危機意識を持つ、高める、持続させるにはどうしたらよいか、危機に対応できる学校組織とはどんな組織なのか、また、事件事故を未然に防ぐための秘策・発生した時の対処法について、講演いただきます。

13 : 30~13 : 45

表彰式



平成 23 年度第 43 回関東地区学校事務研究大会（栃木大会）進捗状況説明

全体研究会 II（対談） 13 : 45~14 : 35



テーマ 安全安心な学校づくり～参画と協働～
 パームコンサルティンググループ代表 伊原 正俊 氏
 全国公立小中学校学校事務職員研究会会長
 宇都宮市立御幸小学校事務長 檜山 幸子 氏
 コーディネーター 栃事研副会長 岡崎 信二

内容

全体研究会 I の講演を受けて感じた感想や疑問、栃事研セミナー（危機管理マネジメント）で生じた課題、またこれまでの研修を通してイメージした危機管理や事務職員の役割に関するギャップ等、解決の糸口をそれぞれの立場からご示唆いただきます。

伊原先生には危機管理の専門的な立場から、檜山会長からは全事研の掲げるビジョンの視点や事務職員としての取り組みのご経験などからご示唆いただきます。

支部発表 河内支部 14 : 50~16 : 30



テーマ 人をつなぐ、システムをつなぐ、うつのみやをつなぐ！！
 ～宇事研活動をとおして～

提案者 宇都宮市立横川中央小学校主事 本嶋 優美 氏
 宇都宮市立晃宝小学校主事 岡村 聖美 氏
 助言者 宇都宮市立清原中学校事務長 吉江 琢也 氏

今回の支部発表では、宇都宮市公立小中学校学校事務研究会の各専門部活動と、宇都宮市の各種の事務システムを活用し、効率化・情報の共有化という点に着目して進めてきた研究部の研究について発表します。さらに、市教委との連携を含め、平成 24 年度から完全実施される『小中一貫教育地域学校園制度』に向けて昨年度から取り組んできた内容についても、合わせて発表します。学校間連携の在り方、そしてそれを支える事務研究会活動の在り方を含めて、会場の皆様と一緒に考え、協議していきたいと思っております。

※駐車場について

お願い

会場周辺には十分な駐車場がありません。
 できるだけ相乗りまたは、公共交通機関を利用してお越しく下さい。

